

UHF帯RFIDタグによる型管理

某鑄造部品メーカーにて大型鑄造部品用の型管理のためにRFIDを導入。一つの大型鑄造部品製造のために複数の型枠、木型を組み合わせる鑄造型を作成します。RFID導入前はベテラン作業者の経験に基づき、必要な型枠、木型を型倉庫からピッキングしていましたが、RFID導入により、経験が浅い作業者でも短時間に間違いなく必要な型枠、木型をピッキングできるようになりました。またピッキング処理と同時に型枠、木型の移動、使用履歴が自動的に記録されるので、効率よく修理、再作成計画が立てられるようになりました。



導入前の課題



1 型枠・木型ピッキング

経験の浅い作業者が担当すると探すことに時間がかかったり、ピッキング間違いが多い。



2 型枠・木型所在管理

倉庫保管、使用中、修理中など、所在不明になることが頻繁にある。



3 使用履歴

使用回数などの履歴がなく、修理、廃棄の明確な基準がない。



4 棚卸

半期に一度、数十人で2日間かけて棚卸を実施。

ICタグで解決!

導入の効果



1 型枠・木型ピッキング

ピッキング後、ハンディターミナルで一括で読取りチェックができるため、誰でも短時間にミスなく作業が可能になった。



2 所在管理

移動時にハンディターミナルで読み取ることで、使用中、修理中などの状態、所在が把握できるようになった。



3 使用履歴

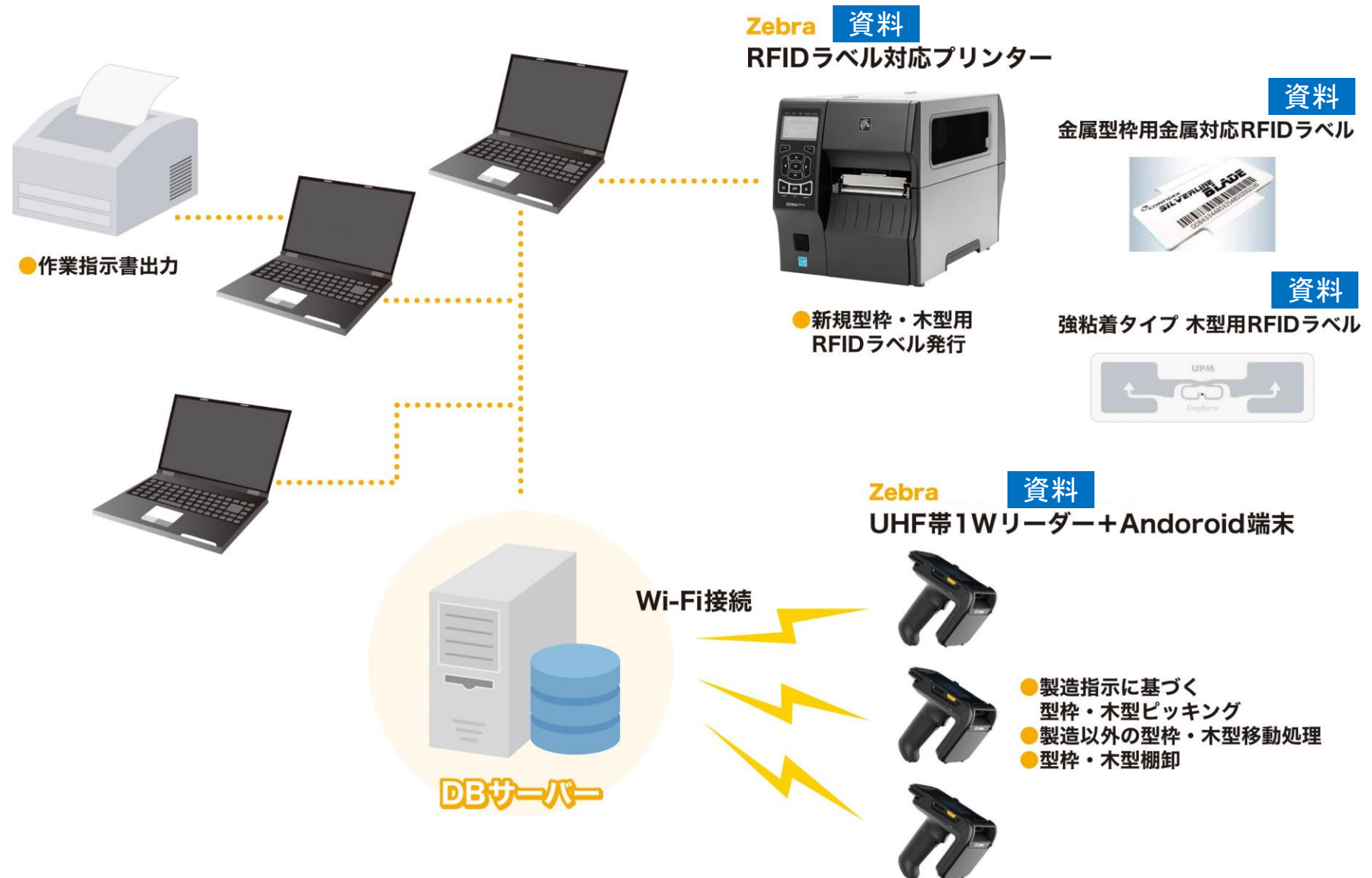
使用ごとにハンディターミナルで読み取ることで、修理、廃棄を効率的に行うことが可能になった。



4 棚卸

半期に一度の棚卸が数人で半日で終わるようになった。

システム概要



運用概要 型枠・木型ピッキング・棚卸

